

ボタンの練習 保護者用シート

1 準備と練習面の作り方

この紙は保護者の確認用です。子どもが使う紙教材や、ボタン穴の型紙ではありません。縫い付け済みの練習布・着衣枠・衣服を用意して使います。

始める前に

- ☐ 製品の対象年齢と注意表示を確認した。
- ☐ 子どもがボタンや布を口へ運ぶ、かじる様子がない。
- ☐ 大人がすぐ手を伸ばせる位置で見続けられる。
- ☐ 乳幼児のきょうだいが手を出さない作業場所を用意した。

布を選ぶ

つまむ部分が見え、角やひびのないボタン。ほつれのない穴。大人が軽く傾けて通せて、留めたあとにすぐ抜けない組み合わせを選びます。大きさだけで選ばず、厚み・布の硬さ・伸びを合わせて確かめます。

大人でも通しにくい布、糸が緩んだ布は使いません。子どもにはボタン単体、針、予備部品を渡しません。

手持ちの服で練習面を整える

- 1 清潔で乾いた服を用意し、ボタンと縫い糸、付け根、穴の表裏を確認する。裏の予備ボタンも点検する。
- 2 机に前を上にして置き、穴とボタンを見比べやすい向きにする。
- 3 袖と脇を裏へ折り、一つが中央に見えるようにする。厚くなり、ぐらつくなら別の服へ替える。
- 4 大人が一つを外して留め、滑りや手元の見え方を確かめる。固定用のピン、クリップ、輪ゴムは付け足さない。
- 5 「外す」「通す」「半分から」のどこを渡すか決め、裁縫道具や包装材を片付けてから誘う。

今日の用意

使う布や製品名 _____

始める場所 ☐ 外す ☐ 通す ☐ 半分から最後だけ

市販品は説明書を優先します。手作り品の縫製・強度をこのシートで保証することはできません。

ボタンを外す

2 大人が先に動かして確かめる

Aはボタンを扱う手、Bは穴の近くの布を支える手です。左右は入れ替えて構いません。持ち替える場面では役割を固定せず、見えている部分をつまめるようにします。

1 穴の近くを支える

Bの親指と人差し指で、穴のすぐ近くの布を持ちます。穴が動きすぎないように支え、遠い端を引っ張らないようにします。

2 ボタンの端をつまむ

Aでボタンの縁をつまみます。平たい面を押し付けず、端が先に入るよう少し傾けます。

3 端を穴へ戻す

Aで端を穴へ戻し、Bで穴の縁をずらします。穴を強く広げず、半分抜けたところで止めて見せます。

4 出た側で持ち直す

反対側へ出たボタンを、つまめる指で持ち直します。もう一方の手で布を支え、残りの端を抜きます。縫い糸を引っ張りません。

5 二枚の布を開く

ボタンと穴が別々に見えるよう、布を少し開きます。一つで手を止め、子どもが試そうとしたら譲りません。

途中から渡すなら

大人がボタンを半分抜き、残りの端を出すところを渡します。子どもが持つ場所を確かめてから、大人は布だけを軽く支えます。嫌がる場合は手を引き、無理に最後まで行いません。

止まったときに見る場所

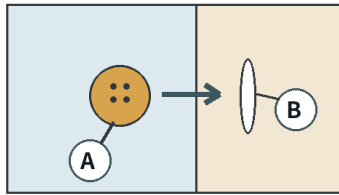
- ☐ 穴が指で隠れていないか
- ☐ ボタンを平らなまま押していないか
- ☐ 半分抜けたあと、持ち直す場所が見えるか

今日、子どもが自分でできた部分

ボタンを通す

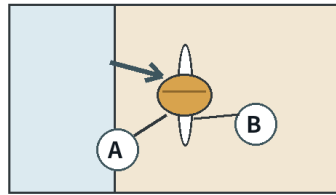
3 支える手と持ち替える手

1 穴のそばを支える



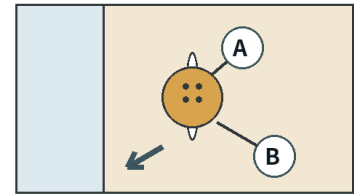
A はボタンをつまむ。
B は穴のすぐ近くの布を支える。

2 ボタンの端から通す



A は端を穴へ向ける。
B は布を逃がし、半分まで通す。

3 出た部分を持ち直す



A は出てきた部分を持ち直す。
B は縁をずらして通り道を作る。

青はボタンが縫い付けられた下の布、薄茶は穴のある上の布。A と B は手の役割。
位置関係の模式図です。縫い方や寸法を示す型紙ではありません。左右の手は入れ替えられます。

図は位置関係の説明です。実物の穴の向き、布の重なり、縫い付け方に合わせて確かめます。

- 1 ボタンと対応する穴を見比べ、布の端を寄せる。上下にずれていれば、先に布を置き直す。
- 2 B で穴の近くを支え、A でボタンの縁を持つ。指で穴をふさがない。
- 3 A でボタンを傾け、端から入れる。B で穴の縁をずらし、半分出たところで止める。
- 4 出てきた縁を持ち直す。もう一方の手で布を支え、残った端から布をそっと逃がす。
- 5 全部通ったら、布のねじれや引っ掛かりを見る。無理に引かず、必要なら少し戻して整える。

一段やさしくする

大人が半分まで通し、出た部分を子どもがつまめる状態にして渡します。大人の手で隠さず、必要なら布の端だけを支えます。

できたら「端を入れるところ」から、次に「穴を探すところ」から。全部を一度に求めず、一つのボタンで繰り返せます。

通りにくいとき

大人でも難しい → 別の布に替える。

布ごと動く → 向き・机の滑り・布の厚みを見直す。

半分で止まる → 出た縁を持ち直す場所を見せる。

糸が浮く、布が傷む → その場で中止する。

穴をその場で切り広げる、ボタンだけを強く引く、子どもの手を握って無理に動かす方法は避けます。

毎回の点検と調整メモ

4 使用前と使用後に大人が確認する

- ☐ すべてのボタンの数がそろい、割れ・欠けがない。
- ☐ 表裏の糸に緩みや切れがなく、付け根の布が傷んでいない。
- ☐ 穴の縁にほつれや裂け、前回より広がった部分がない。
- ☐ 通常の留め外しで、糸の浮きや以前より大きい揺れがない。
- ☐ 針・ピン・糸くず・予備部品・包装材が作業場所にない。

一つでも不安があれば回収します。確認は家庭での点検であり、強度試験や安全保証ではありません。接着剤やテープで仮留めして続きません。

今日の記録

日付 _____ 使用前確認 _____ 使用後確認 _____

実物の記録 ボタンの大きさや厚み _____

布の硬さや伸び _____

※記録欄です。推奨寸法や安全判定の基準ではありません。

止まった場所 ☐ 位置探し ☐ 端を入れる ☐ 半分から先
☐ 外す ☐ 布の安定 ☐ その他 _____

見えた動き _____

大人が助けた部分 _____

次に一つだけ変えること _____

やめるときと片付け

口へ運ぶ、かじる、巻く、強く引く、疲れる、嫌がる様子があれば終了。大人が離れるときも回収します。終了後は数と状態、机と床を確認し、子どもが勝手に取れない場所に保管します。

誤飲が疑われたら、無理に吐かせず速やかに医療機関へ相談・受診を。呼吸が苦しい、声が出ないなど窒息が疑われるときは119番へ連絡し、指示に従います。

安全情報：消費者庁「おもちゃなど小さなものを誤飲する事故に注意」

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/child/project_001/mail/20210225/

政府広報「赤ちゃんやこどもを誤飲・窒息事故から守る」

<https://www.gov-online.go.jp/article/202408/entry-6450.html>

詳しい本文：<https://kotobari.jp/montessori/button-practice/>

作成 2026 年 10 月 14 日 独自模式図を含む保護者用資料